

「特別用途食品、特定保健用食品及び機能性表示食品の買上調査」 のロジックモデル

資料 7-2

現状把握 ・課題設定	インプット (資源)	アクティビティ (活動)	アウトプット (活動目標・実績)	アウトカム (成果目標・実績)	インパクト (国民・社会への影響)
・過去に調査した結果、関与成分等の含有量が表示値を下回る事例があった。 ・特別用途食品及び特定保健用食品の許可等件数は、それぞれ65件及び1,073件 (令和元年4月30日現在) ・機能性表示食品の公表件数は、2,629件 (令和元年4月30日現在)	予算: - 令和元年度 16百万円 - 平成30年度 16百万円 - 平成29年度 16百万円	①販売されている特別用途食品、特定保健用食品及び機能性表示食品の買上・関与成分等の含有量の分析調査 ②調査結果に問題が確認された場合、事業者への確認・必要に応じた指導等	①調査品目数 目標: 年100品程度 (令和元年度実績) ・特別用途食品 5品 ・特定保健用食品 40品 ・機能性表示食品 60品 ②調査結果を踏まえた対応 (令和元年度実績) ・関与成分等が表示どおり含有されていた品目数: 104品 ・内容確認中: 1品 ③調査結果の公表	【短期】 ・消費者庁から指導を受けた事業者の不適切表示商品の流通防止・定期的な品質管理確認の促進 【中期】 ・調査事業の結果を公表することによる事業者(買上調査の対象品目以外の商品を販売する事業者を含む。)の品質管理の質向上 【長期】 ・健康や栄養に関する表示制度に対する消費者の信頼性の向上	・消費者の誤認を招かない、自主的かつ合理的な商品選択に資する表示制度の適正運用 (調査結果の情報提供を含め適正な表示による消費者への情報提供)